

## 遊び心に関する研究プロジェクト

小松 歩・瀧口 優・金田 利子\*・山路 千華\*\*

### 活動実績の概要

#### はじめに

2009年度幼稚園園舎の一部建て替えに合せてスタートした研究プロジェクトの中から「遊び心に関する研究プロジェクト」はスタートした。以後10年、遊びと遊び心をテーマに研究を重ね、研究調査と保育学会等での発表を重ねてきた。2019年度はその積み重ねを踏まえて出版を視野に入れての取り組みを行ってきた。残念ながら出版については準備不足で延期となったが、研究活動は着実にすすめてきた。以下経過と今後の課題である。

学会での2つの発表を行いながら出版を目指した。今年度はまだ企画が未成熟ということで次年度以降の申請となった。9月末には日本保育学会の発表登録があり、それにむけた準備を行った。10月からは出版に向けてそれぞれのテーマを深めると共に、翌年アテネで開催される OMEP 世界大会において発表しようということで内容の検討を行った。12月からは保育学会の発表のための概要づくりを行い、OMEP の申請と共に保育学会の資料を送付した。2月からは保育学会発表のための準備と書籍作成のための原稿検討を行った。

### 1. 研究の経過

計画に沿って研究会を開催し、5月の日本保育

回	月	日	内 容	備 考	場 所
1	4	21	研究会	調査のまとめ、保育学会報告準備	小松研究室
2	5	4	保育学会	発表1, 発表2	大妻女子大学
3	6	1	研究会	書籍作成に向けて（原稿検討）	小松研究室
4	6	23	研究会	書籍作成に向けて（原稿検討）	小松研究室
5	7	14	研究会	書籍作成に向けて（原稿検討）	小松研究室
6	8	17	研究会	保育学会発表に向けて	小松研究室
7	9	15	研究会	保育学会発表に向けて	小松研究室
8	11	24	研究会	OMEP発表に向けて	小松研究室
9	12	8	研究会	OMEP発表に向けて	小松研究室
10	1	19	研究会	保育学会発表に向けて	小松研究室
11	2	11	研究会	書籍作成に向けて（原稿検討）	小松研究室
12	3	22	研究会	書籍作成に向けて（原稿検討）	小松研究室

\*客員研究員 東京国際福祉専門学校

\*\*客員研究員 白鷗大学

## 2. 研究の成果と課題

2018年度に行った小平市内の幼稚園と保育園の保育者及び保護者への調査のまとめを、白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所研究年報に研究ノートとしてまとめた。また遊び心をテーマにそれぞれの立場から研究をまとめて報告し、意見交換を行ってきた。その発展として2020年5月の日本保育学会で自主シンポジウムを企画し、7月にアテネで開催される OMEP 世界大会で遊び心について発表することになった。

「遊びごころ」をどのように定義するかについて、保育や教育の分野ではほとんど議論がなされていない中で、保育者や保護者、あるいは子どもの視点から資料を集め論議を行う中で、一定の方向が出されつつあり、学会での発表を踏まえて書籍という形でまとめたい。

「遊びによる子どもの育つ地域環境作り V—東京都下における保育者の遊び観に関する調査研究から—」、小松歩、瀧口優、金田利子、山路千華、日本保育学会第72回大会

「遊びによる子どもの育つ地域環境作り VI—東京都下における保護者の遊び観に関する調査研究から—」、瀧口優、小松歩、金田利子、山路千華、日本保育学会第72回大会

「遊び観・遊び心と保育・子育て—東京都下における保護者及び保育者への調査研究から—」、瀧口優、小松歩、金田利子、山路千華、白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所研究年報24号、pp.3-11.